

## 自分の夢に向かって



千歳市立千歳中学校  
教諭 乙川 顕 寿  
平成 15 年度採用  
(四肢マヒ)

私は現在、中学校で副担任として勤務しています。教科は英語です。中途障がいで頸椎損傷となり、日常

的に車椅子を使用しています。着任時には職員玄関やトイレを改修していただき、ドアにはバー式の取手も付けてもらいました。また、教科についてもＴＴのサポートを受けながら、教科専用の教室で授業を行っています。そのおかげで障がいに制限されることなく、自由に授業を進めていくことができます。

教員を目指した当時は、私のような車椅子の先生にしかできない“何か”があるだろうと考え、採用試験を受けたのですが、実際に勤務するにあたり大きな不安がありました。しかし、教育委員会や職場の先生方による手厚いサポートのおかげで、自分の障がいに負い目を感じることなく働くことができています。しかしその反面、自分にできることは何なのか、自分がしなければいけないことは何なのかを考え、それを形にしていくことに難しさを感じています。目の前にいる子ども達にとって、私が“車椅子に乗った先生”であることの意味や価値は必ずあるはずで、それを踏まえ、自分が教師としてどのように物事を考え、それを伝え、動いていくべきかを考えてきました。しかしまた同時に、職場の環境が整備され、人的バックアップも充実し、自分が他の教員と共に協働できるようになればなるほど、“障がいを越えた部分”での人間力が必要とされるような気もします。勤務経験 7 年目を迎えた今、障がいのあるなしに関わらず、“1 教員”として人間力を高めることが私の大きな課題となっています。

最後に、障がいをお持ちの教員を志望されようとしているみなさん。どうか躊躇せず、自分の夢に向かって思い切って突き進んで下さい。

